第15回沖縄県理学療法学術大会 開催·演題募集要項

大会テーマ 「理学療法と周辺科学」

基調講演1

「理学療法と形態学」

講師:石田肇(琉球大学医学部教授)

基調講演2

「セラピストのための心理学」

~理学療法士の精神衛生と関連トピックス~

講師:古川卓(琉球大学保健管理センター教授)

期日:平成25年11月10日(日)

会場:琉球リハビリテーション学院

主催:公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

第15回沖縄県理学療法学術大会「理学療法と周辺科学」

第15回沖縄県理学療法学術大会 大会長 与那嶺司

第15回沖縄県理学療法学術大会が、琉球リハビリテーション学院を会場として 平成25年11月10日に「理学療法と周辺科学」をテーマに開催されます。

昨年の第14回大会は「広がりー領域の拡大を目指してー」というテーマで開催されました。理学療法が学術的にも職域的にもより広い領域に広がって行くことで、逆に自らの立ち位置を確認しようという趣旨でした。

今回第15回大会は、理学療法が周辺科学から学び取るものは何か、さらには理学療法が周辺科学に与えることができることは何かを模索する目的で、「理学療法と周辺科学」というテーマとしました。今回は周辺科学の中でも、特に馴染みの多い解剖学と心理学を取り上げてみました。

テーマに関連した基調講演は、1と2に分かれており、基調講演1は琉球大学 医学部石田肇教授に、「理学療法と形態学」というタイトルでご講演いただきま す。石田先生には、沖縄県内の理学療法卒前卒後教育に、解剖学の立場から多大 なるご協力をいただいておりますが、ご専門である形態人類学と理学療法をつな げた興味深いお話が聞けるものと期待しております。

基調講演2は琉球大学保健管理センター所長・古川卓教授に「セラピストのための心理学」と題して、セラピスト自身の精神衛生と、理学療法と心理学の結びつきなどについてご講演をいただくことになっております。古川先生は日本発祥の心理療法である「動作法」の指導者として、理学療法士とのつながりも多い臨床心理士です。

沖縄県理学療法学術大会のプログラムや運営なども、解剖学や心理学の関連学会から少なからぬ影響を受けております。会員の皆様も、ぜひこの機会に学生時代から馴染みのある、解剖学と心理学を振り返りつつ、自分自身の臨床活動や学術活動に生かしてはいかがでしょうか。

開催要項

- 1)会期:平成25年11月10日(日)
- 2)会場:琉球リハビリテーション学院
- 3)参加費:会員 2,000円(会員証提示が必要) 学生 500円

会員外3,000円

- ※会員の皆様は受付時<u>必ず会員証を提示して下さい</u>。会員証にて受付の簡素化を図っています。ご協力宜しくお願いします。
- ※新人教育プログラムの単位として認められます。認定理学療法士および専門理学療法士制度の履修ポイントは「都道府県学会」の履修ポイントに該当します。
- 4) 事務局: **〒**904-2153 沖縄市美里1-31-15(中部協同病院内)

電話 098-938-8828(代) FAX 098-939-5859 担当:守内泰道(PT)

大会スケジュール

0:20	講堂1	講堂2・その他			
8:30		受付			
9:00	受付 口述受付・試写	ワーク ショップ	ワーク ショップ	ワーク ショップ	
9:50	開会式・大会長挨拶				
10:00	基調講演1 「理学療法と形態学」	ポスター貼り付け ポスター展示			
11:00	□述	ポスター	ポスター	ポスター	
12:00	□述	ポスター	ポスター	ポスター	書籍販売
13:00	表彰式・	昼食			
14:00	基調講演2 「セラピストのための心理学」	ポスター展示			
15:00	シンポジウム 「急性期・回復期の長下肢装具使用について」	ポスター	ポスター	ポスター	
16:00	教育発達的介入サービス(海軍病院)ワークショップ テリー・ウォーターマン	自主ワーク ショップ	自主ワーク ショップ	自主ワーク ショップ	
17:00	閉会式(ポスター撤去)				

※募集演題数によりスケジュールの変更があります。

演題募集要項

1. 応募資格

- 1)原則として公益社団法人日本理学療法士協会会員であり、かつ公益社団法人沖縄県理学療法士会会員に限ります。尚、他職種(学生含む)が筆頭演者の場合は、共同演者に本士協会会員が含まれている必要があります。
- 2) 筆頭演者は1人あたり1演題までとします。同一筆頭演者による複数の演題応募は 出来ません。

2. 応募方法

沖縄県理学療法学術大会ホームページ(http://www.geocities.jp/okiptgakkai/)より本大会指定書式(抄録フォーマット)をダウンロードし、抄録作成後下記の要領で応募してください。

3. 抄録受付期間(期日厳守でお願いします)

- ①口述、②ポスター1 (プレゼン)、③ポスター2 (ディスカッション) 平成25年8月15日(木)17時締切 ※抄録受付をもって登録完了
- 4)自主ワークショップ

平成25年6月30日(日)17時締切 ※抄録受付メールアドレスまで「タイトル」「ワークショップしたい内容(50文字ほど)」を本文記載しメール送信。

4. 応募演題に関する倫理上の注意

ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認下さい。特にプライバシーの侵害や 人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記 してください。また、レントゲン撮影や侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、抄録 中にそれを施行した人の職種を明記して下さい。なお、演者の所属する機関の倫理委 員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載して下さい。

5. 抄録受付について(①口述、②ポスター1、③ポスター2)

E-メールでの受付となります。本大会指定書式(抄録フォーマット)に演題内容を入力し、下記のメールアドレスまで添付ファイルで送信してください。

抄録受付メールアドレス <u>okiptgakkai1123@yahoo.co.jp</u>

抄録受付担当:伊礼祥子(沖縄リハビリテーションセンター病院)

件名へ「15PT(演者氏名)」を入力し、本文中に①演者名(ひらがな)、②所属施設名、③演題分類希望(第3希望まで)、④口述、ポスター1(プレゼン形式)、ポスター2(ディスカッション形式)のいずれかの希望発表形式を入力・送信して下さい。件名例)15PT(西平伸也)

本文例) ①西平伸也(にしひらしんや)、②〇〇病院、③2・11・7、④ポスター1

6. 演題の分類について 演題の分類は右記の通り となります。第3希望まで 選択できますが、最終決定 は大会長に一任させて頂き ます。ご了承下さい。

1	基礎	9	義肢装具
2	骨関節・脊髄	10	物理療法
3	成人中枢神経	11	スポーツ・健康
4	小児・発達	12	地域リハ
5	呼吸・循環・代謝	13	認知症
6	精神・心理	14	教育・管理運営
7	測定・評価	15	調査・統計
8	日常生活活動	16	その他

7. 抄録書式について(本大会指定書式)

詳しくはホームページ上の抄録フォーマットをご確認下さい。A4一頁に一演題が掲載されます。つきましては、以下の点に注意し作成して下さい。

- ①形式はwindowsマイクロソフトワードを利用して下さい(本大会指定書式)。
- ②本文には【目的】【方法】【説明と同意】【結果】【考察】【理学療法学研究としての意義】等の小見出しをつけ、1950文字以内で作成して下さい。小見出しは文字数に含まれません。文字数は全角換算(半角英数字は2文字を1文字に換算)。文字数が多い場合は強制的に削除する場合があります。
- ③図表は貼り付けないで下さい。
- ④キーワードは必ず3個選び、キーワード間には中点(・)を付けてください。
- ⑤演者名と所属名は、まず演者名を先に記載してください。共同演者の所属が異なる場合には、同施設ごとに共同演者名を記載した後に所属を記載してください。
- ⑥演題名、キーワード、所属、氏名については「ゴシック体」、本体は「明朝体」を使用してください。サイズは演題名には12ポイント、キーワード、氏名、所属には10.5ポイント、本体には9ポイントを使用してください。

8. 発表形式について

発表形式については、抄録受付時に①ロ述、②ポスター1 (プレゼン形式)、③ポスター2 (ディスカッション形式)のいずれかを希望してください。抄録受付後、査読委員による査読後、その選定を行います。

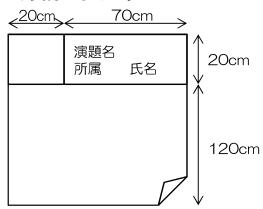
形式	発表時間	質疑応答	座長	発表媒体	備考
①□述	8分	7分	あり	パワーポイント	昨年同様
②ポスター1(プレゼン形式)	7分	3分	あり	ポスター	昨年同様
③ポスター2 (ディスカッション形式)	発表なし ※ポスター前で 待機	60分	なし	ポスター ※PC等持ち込 み動画も可	昨年同様
④自主ワークショップ	全体で60分		なし	要相談	新規

①口述発表について

- 1)スライドはwindowsマイクロソフトパワーポイントを使用して下さい。スライドは当日、CD-RかUSBにてご持参下さい(※CD-RWは不可)。尚試写を行いますので早めに受付を済ませて下さい。
- 2) 発表時間は8分です。時間内であればスライド枚数の制限はありません。
- 3)静止画像のみとします。※アニメーション動画、音声は受付しません。

②ポスターセッション1(プレゼン形式)について

- 1)示説スペースは縦120cm、横90cmです。演題名・所属・氏名は縦20cm、横70cm、各自で作成して下さい。
- 2)発表時間は7分、質疑応答3分を予定しています。 座長の進行に従って下さい。
- 3) セッション終了後、ポスター前で10分間待機し、 参加者との質疑に対応してください。



③ポスターセッション2(ディスカッション形式)について

- 1) 示説スペースは縦120cm、横90cmです。演題名・所属・氏名は縦20cm、横70cmで、各自で作成して下さい(ポスター1と同様)。
- 2) 座長および発表時間は設けません。質疑応答時間を60分とします。指定された時間にポスター前で待機し、参加者との質疑応答・意見交換を行う予定です。
- 3) ご自身でPC、携帯用タブレット等の動画端末を用意し使用することも可能です(使用しなくてもよい)。 時間内であれば動画の時間は問いません。

④自主ワークショップについて

- 1)自分の臨床を実際に見せて討論したいと思っている方を募ります。※昨年のワークショップと同様の形態
- 2)時間枠60分、30名ほどの部屋を用意する予定です。その他、発表媒体、方法、マット準備など大会実行委員と相談しながら進めていきます。
- 例)「カラダのいたわり方ー動作法を通してー」「リンパドレナージュの実際」

9. 重要事項

- 1) 筆頭演者が発表できない場合は必ず共同演者が発表を行って下さい。
- 2) 当日の発表が出来ない場合は、共同演者も含めて次年度学術大会での演題登録が許可 されませんのでご注意下さい。

10. 託児室の設置について

会場内に託児室を設置します。事前申し込みによる受付は下記問い合わせ先まで。

11. お問い合わせ先

事務局: **〒**904-2153 沖縄市美里1-31-15(中部協同病院内)

電話 098-938-8828(代) FAX 098-939-5859 担当:守内泰道(PT)

会場へのご案内



会場:琉球リハビリテーション学院

住所:沖縄県国頭郡金武町金武

電話:098-983-2130

※駐車場は琉球リハ学院北側と南側

にあります。